

新製品ケーブル貫通部防火措置材「タフロック・ニジカンパイプ」

タフロック・ニジカンパイプは、ケーブルの防火区画貫通部における鋼製電線管工法による防火措置材です。

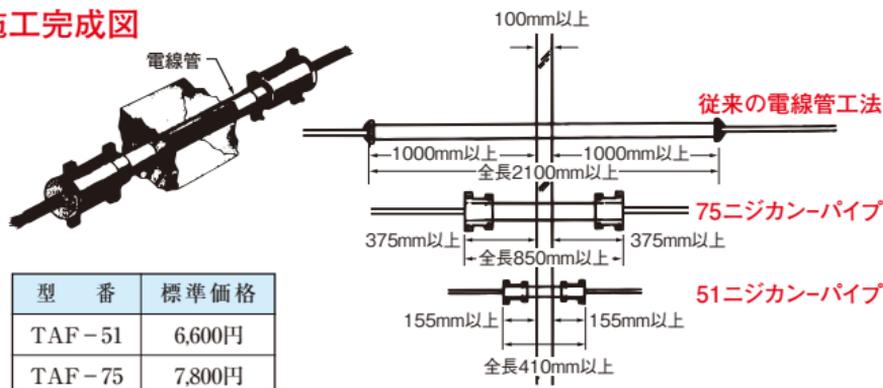
従来の電線管による防火区画貫通部の防火措置工法では、壁(床)面から片側で1m以上電線管を突き出さなくてはならず、ケーブルのとりまわしが大きく、天井裏や床下など狭い場所での施工は、やりにくい不便さがありました。新製品タフロック・ニジカンパイプによる工法では、電線管径51・75で、それぞれ全長が41cm・85cmですみ、大巾に長さを短縮することができます。

タフロック・ニジカンパイプは、日本建築センターから2時間防火性能の評定(BCJ-防災-97)を受けています。また、1ヵ所分の所要材料が1つにセットされているので、積算、施工ともに簡単で材料の無駄がありません。

ケーブルラック配線で防火区画を貫通するときは、既に販売して好評を得ているタフロック・ニジカン(BCJ-防災-77)をご使用下さるよう、併せてお奨めします。

タフロック・ニジカン(パイプ)は、全国的な電材店の販売網が整って即納態勢のネグロスにご用命下さい。カタログご希望の方は当広報室へ。(このミニ通信の宛名変更等はお手数でも当広報室までご一報下さい)

施工完成図



型番	標準価格
TAF-51	6,600円
TAF-75	7,800円